

一小的校内研修(中期指導主事学校訪問 授業研究会)

算数科の学習

令和5年11月8日(水) 6年3組

<単元名> 場合の数

<学習について>

この単元は、次のような力を育てることをねらいとしています。

- 起こり得る場合を順序よく整理するための図や表などの用い方を理解する。
- 事象の特徴に着目し、順序よく整理する観点を決めて、落ちや重なりなく調べる方法を考えることができる。

この学習は6時間予定で、本時は4時間目です。本時のねらいは次の通りです。

組み合わせの求め方を図や表などを用いて説明したり、考え方の共通点や並べ方との相違点を話し合ったりする活動を通して、組み合わせの総数の求め方について理解できるようにする。

活動1 学習問題をとらえ学習のめあてをもち、自分なりに考える。



TV画面と板書により、問題をしっかりと捉えることができました。しかし、順序を考慮する「並べ方」と順序は問題としない「組み合わせ」の違いは間違いやすいところです。その点を確認しました。

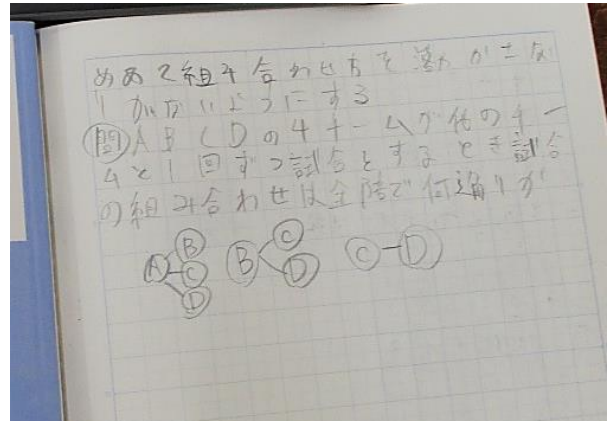


この授業の前には「並べ方」の求め方を学習しています。

その知識を生かして、自分なりに試合数の求め方を考えていきました。



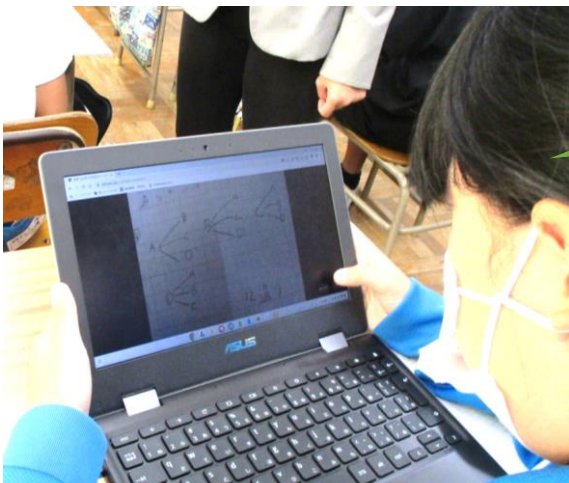
見通しがもてない児童は教科書やタブレットに用意されたヒントカードを参考にしていました。



いろいろな方法を考え、ノートに記していました。誤答も見られましたが、貴重な学習材料となります。



活動2 解決方法を比較し合い、それぞれの考え方について話し合う。



友だちが考えた方法がタブレットに映し出されています。

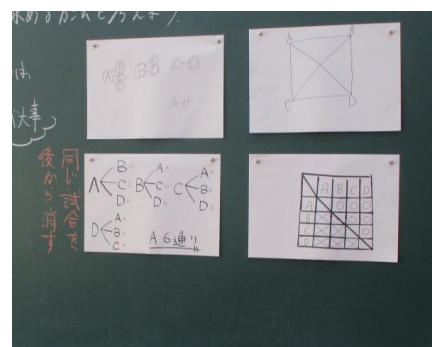
同じ方法で解いているのに結果が違ふなどという状況も見られました。

積極的な意見交換が行われ関心の高まりを感じました。





3 本時の学習を振り返り、学習のまとめをする。



4つの解き方について、それぞれのよさをまとめました。児童が積極的に話し合っていた姿が印象的でした。